



議会改革推進特別委員会先進地行政視察報告書

期 日 令和2年10月28日(水)
調 査 市 鹿 児 島 県 曾 於 市
出 張 者 委 員 長 東 育 代 ・ 副 委 員 長 (欠 席)
委 員 吉 留 良 三 ・ 委 員 江 口 祥 子
委 員 松 崎 幹 夫 ・ 委 員 田 中 和 矢
委 員 濱 田 尚 ・ 委 員 福 田 清 宏
随 員 石 元 謙 吾 ・ 福 谷 和 也 ・ 橋 之 口 健 志
【当 局】 財 政 課 長 補 佐 岡 元 満
財 政 課 財 務 係 長 野 崎 慎 一

◎上記のことについて、次のとおり報告いたします。

現在、本市議会にて検討を進めているタブレット端末の導入(ペーパーレス)について、平成29年度に導入し、県内でも先進的な取組を進めている曾於市議会の状況について調査した。

【曾於市】 調査事項：タブレット端末の導入について

曾於市は、面積390.14平方キロメートルで、人口約3万4千人。大隅半島の北部に位置し、市の北東部は宮崎県都城市と隣接している。市の基幹産業は農林業で、畜産やゆず、お茶、すいかななどの地域を代表するブランド作物のほか、肉用牛の生産、肥育、養豚、養鶏などが盛んである。

平成28年12月にタブレット導入作業部会(議員8名)を設置し、平成29年11月にタブレット端末を導入した。また、平成31年3月定例会から、完全ペーパーレス議会へと移行している。

○曾於市議会におけるタブレットの特徴(説明より)

- ①ペーパーレスの観点から、当局と併せて導入をした。(議会20台・行政40台)
予算については、総務課にて対応
- ②費用については、全額を公費負担としている。(議員に対し、機器を貸与している)
→議員活動の目的に沿った使用を促す
- ③タブレット導入時は多くの議員の不安があったが、研修等を重ねて、だいぶ慣れた
- ④通常の事務連絡は、Linkit(チャットアプリ)やgoogleカレンダーを用いており、紙で案内しているのは、召集通知のみ
- ⑤定例会等の資料をsidebooks内にて管理(事務局作業)
4年間のデータ保存後CDにコピーした後、sidebooks内のデータについては消去
議員個人のデータをsidebooks内に入れることはできない。(googleドライブで対応)
- ⑥当局については、通常のパソコンがあり、タブレットが議会以外で上手く活用されていないのが課題である。

○質疑応答（主なもの）

項目	質 問	回 答
1	・個人で作成した word や excel のデータをタブレット内で保存・編集することは可能か	・曾於市でしている人はほとんどいなかったが、現在は、タブレットを使った通告が可能になった ・議員それぞれに google アカウントを設定し、自分の資料を google 内に保存、編集することは可能
2	・4年後は、データを CD-ROM に移すとのことだが、議員に配布するのか	・事務局で保存し、議員には配布していない
3	・有害サイトの閲覧は	・元々、セキュリティーがかかっている
4	・タブレットによるトラブルは	・タブレットを使って「ここを質問するように」との指示があった (委員会以外の議員から委員に指示) 【H31.3.26 南日本新聞 4 面】
5	・アプリを議員が独自でインストールできるか	・基本的には認めていない ・印刷アプリが必要な場合は、事務局で操作、インストールを行う
6	・議会以外での当局の活用	・庁議などで活用している
7	・召集通知の対応	・議員からの要望により、現在は紙で通知
8	・市当局のタブレット配備	・各課長に 1 台ずつ配備 (課長以外は見られない)

【所 感】

今回の視察を通して、曾於市議会のタブレット導入に対する前向きな姿勢が確認できた。導入時期までの検討、導入機種や閲覧ソフトの選定基準、タブレット使用の取り決めや、導入後のフォローアップなどがきちんと整理されており、これからの導入を目指す本市議会にとって、参考となる部分が多かった。

タブレットの導入により、条例や規則の見直しが必要となるが、それ以上に、議員本人や事務局あるいは当局にとっても大きなメリットがあるように感じた。

「議会にタブレットを導入してよかった」と本市でも実感してもらえよう、今回の曾於市の事例を参考に検討していきたい。

【参考資料】

- ・視察時の説明資料 【4～16 ページ】

【視察時の説明の様子】



【議場での様子】

